

無縫 No.75

発行 一般財団法人 田澤記念館
 住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地
 発行責任者 平野重徳・小池幸照
 発行所 鹿島印刷株式会社
 発行日 2018年10月1日

鹿島市明治維新150年記念 田澤義鋪顕彰事業 大成功!!



開式 小池幸照代表理事

7月22日(日)に鹿島市生涯学習センター「エイブル」で開催され、市内外から約400名(田澤義鋪氏の四男である田澤義彦夫妻)が訪れた。式典は大村方獅子のオープニングで始まり、小池幸照実行委員の開会の言葉、樋口久俊鹿島市長の主催者の挨拶、来賓の佐賀県環境部まなび課長砂後典之氏から祝辞があった。



開場前入場待ちの方



三瓶千香子准教授

開会式後、桜の聖母短期大学 三瓶千香子准教授が「21世紀型教育からみる田澤思想」と言う演題で田澤義鋪思想について、わかりやすくパワフルにみっちり60分間講演した。聴かれた女性は「心にストンと落ちた」「自分もこれから仕掛け人として頑張る」と息を弾ませていた。顕彰活動の発表では、少年クラブ修了生の北村綺野さんは、「田澤先生のすばらしさは、がまん強さ、強い信念と行動力、世界に恥じない日本の国作り、自分のことよりも人の幸せをまず考える優しさで正しく清らかな心です。様々な研修と体験をとおして私は、田澤先生が目指された平和や、人としての正しく暖かい生き方を学び、自分の将来に役立てるつもりです」と述べた。ユースカレッジ修了生の山口祐佳さん・柴田智典さんは、「ユースカレッジで講義や屋外研修などを通じて田澤先生のことを学ぶことにより、協調性や責任感、自主性が育まれ、また貴重な友人を得ることができました。田澤先生が目指した青年団活動においても地域をまとめるのは、ひとり一人が自発的に行動することにより生まれる絆です。「郷土に錦を飾るより、郷土を錦で飾ることを心がけよ」の教えのとおり、ユースカレッジで学んだ田澤精神をもって、このふるさと鹿島の地を錦で飾れるよう努めていきたいと思っています」と田澤学習の成果を発表した。続いて安永館長が出前授業に至る経緯とこれからどのように広めていくべきか提案した。

そして演劇『鹿島ん桜 ～田澤義鋪物語～』では、五校時代の飲酒(後藤文夫等の友情)、大学卒業旅行での決意、入閣辞退、四国普通寺の場面等を、幕末・維新佐賀の八賢人おもてなし隊の役者と鹿島市いなばゆうこ氏が熟演し、笑いあり涙ありのすばらしいステージで幕を閉じた。会場を出られる人たちは「よかったね」「すばらしかったね」と話しながら、青年団が販売協力していた「この人を見よ」を購入していた。大会には、前年度ユースカレッジ修了生約15名と現ユースカレッジ生20名が色々な係として手助けをしていた。



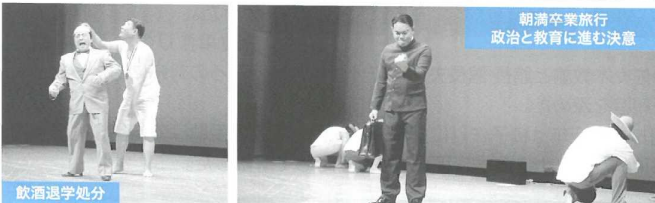
オープニングを飾った
大村方獅子舞



熱のごもった三瓶准教授の話



田澤顕彰活動について述べる北村27期少年
クラブ修了生、山口・柴田25期ユースカレ
ッジ修了生、安永館長



飲酒退学処分

朝満卒業旅行
政治と教育に進む決意



鹿島ん桜～田澤義鋪物語～

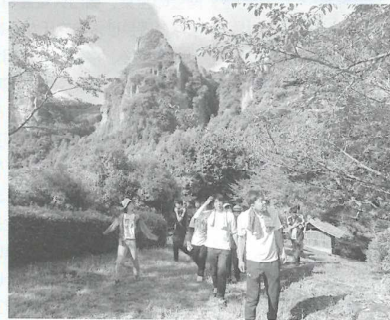
青年教育(ユースカレッジの活動) ～黒髪少年自然の家宿泊研修～

9月21日(金)、22日(土)に黒髪少年自然の家で宿泊研修を行いました。目的は集団活動を通しての自治と親睦であった。野外炊飯、交流会、黒髪登山を企画してあったが、あいにくの天候で登山ができなかった。ユースカレッジ生達は真剣に活動し目的を達成しようだった。

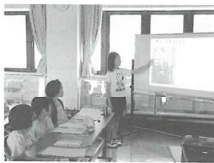


今回、黒髪少年自然の家での研修で、集団生活の厳しさや決められた時間の中で食事や物事をこなしていくことの難しさを改めて実感しました。

田澤記念館での田澤学習後、黒髪少年自然の家に移動し、すぐに食事の準備に取りかかりました。作るメニューはカレーで、お米やルーを作る際は、薪を使って飯盒でご飯を炊き、ルーの具を炒めたりしなければならなかったので普段では考えられないような所でミスしたり、火加減も常に見ていないと上手くいかなかったのが、今までにない経験ができました。その後の入浴時間や懇親会の時間が大幅に変更になったことも、臨機応変に対応していくことを学びました。次の日も登山は前日の雨で中止になりクラブ活動をしました。手先を上手く使わないといけなかったのがかなり苦労しました。その後のグループ対抗のオリエンテーリングもコミュニケーションをとりながら進めていくことができました。今回の研修で普段あまり話せなかった人と話すこともでき、集団行動の大変さを改めて実感できるよい機会となりました。(参加者の感想から)



浴恩館を手本に田澤記念館で少年クラブ宿泊研修!



田澤少年クラブで8月4日(土)、5日(日)に田澤記念館で宿泊研修を行った。田澤先生が行った自主自立には到底及ばないが、自分たちで三食作ることを体験させた。4日の昼食・夕食、5日の朝食を協力して作り、食べた。前回の研修で田澤食作りの体験をしていたが、やはり時間が大幅に延長した。

しかし、夕食作り、朝食作りは幾分早くできるようになった。やはり体験を重ねると手際がよくなり、段取りも早くなったようだった。ただ、よく目を凝らしてみると、している子、指示を待っている子、仕事から逃げようとしている子と分類できるようになっているのが分かった。

田澤先生だったらこの子どもたちをどのように気づかせ、導かれるだろうか?

課題ははっきりと見えてきた。

食事作りの合間は、夏

休みの宿題をする時間とした。鹿島小学校の佐々木教諭と館長・館長夫人とで分からないところの対応にあたった。また、夜は館長夫人の読み聞かせやゲームで親睦を深めた。

5日(日)は青年団主催の木工教室に参加した。今年は椅子作りに挑戦した。色々な人の手助けで作品が完成して大喜びだった。最後に駐車場で保護者から頂いたスイカを食べ、種飛ばし競争をして解散した。